



# 大池中学校だより

## 『令和7年度 全国学力・学習状況調査』結果概要のお知らせ。

学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学力を育んでいきましょう。大池中学校は、「聴き合い学び合う」授業 「学びをあきらめない」授業 「誰一人取り残さない」授業を目指して大切にしています。授業改善の視点を持ち、1時間1時間の授業を大切にします。

## ◆ 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果と対応

4月15日(火)に中学3年生を対象として(小学校は6年生)「令和7年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。7月31日には、記者発表資料として、四日市市教育委員会ホームページにおいて、四日市市の小中学校における結果を公表していただいています。

### 【四日市市の小・中学校の令和7年度(中学3年生が対象)全国学調 各教科平均正答率】

|     |           | 国語     | 算数・数学  | 理科            |
|-----|-----------|--------|--------|---------------|
| 小学校 | 四日市市      | 66%    | 55%    | 56%           |
|     | 三重県       | 66%    | 57%    | 56%           |
|     | 全国(公立中学校) | 66, 8% | 58, 0% | 57, 1%        |
| 中学校 | 四日市市      | 54%    | 49%    | 500(平均IRTスコア) |
|     | 三重県       | 53%    | 47%    | 498(平均IRTスコア) |
|     | 全国(公立中学校) | 54, 3% | 48, 3% | 503(平均IRTスコア) |

※中学校「理科」の平均IRTスコアとは500を基準にした得点です。

この調査の目的は、大池中学校の3年生の学力・学習の状況を分析し、大池中学校の「授業への取り組みをはじめとする教育施策の成果と課題を検証すること」にあります。これを受けて、大池中学校での「教育指導及び授業改善に向けての充実に役立てる」ことを大切にします。結果分析をすすめ、指導の成果・課題をまとめました。この調査で測定できる「学力」とは、学力全体(確かに生きる力)の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを付け加えます。

### 【3年生「社会」授業の様子】



## 1 「全国学力・学習状況調査(3年生)」からみる 大池中学校生徒の特徴(強みと弱み)

### 【国語】について

大池中学校の平均正答率を比較すると、三重県よりも+2%、全国よりも+0.7%の結果であった。話すこと・聞くこと、読むことの問題は三重県・全国平均よりも正答率が高く、書くことに関する問題はいずれよりも正答率が低かった。

(強み) いくつかの情報から正しいものを選択して回答する問題の正答率が高い。また、その問題の特徴として、ちらしの情報を読み取ったり、伝わりやすい表現を考えたりするなど、実生活に基づいた題材や授業で取り扱ったものが多かった。

(弱み) 選択式の問題の正答率が高かった一方、短答・記述式の問題では無回答率が高い。自分の考えを根拠を基に書き表すことに消極的な生徒も多いため、授業ではあらゆる場面で自分の考えを表出させる機会を設けたい。

|               | R6みえスタ(現3年生) | R7全国学力学習状況調査(現3年生) |
|---------------|--------------|--------------------|
| 大池中学校 : 平均正答率 | 51%          | 55%                |
| 四日市市 : 平均正答率  | 50%          | 54%                |
| 三重県 : 平均正答率   | 50%          | 53%                |
| 全国 : 平均正答率    | —            | 54, 3%             |
| 大池中学校と三重県との差  | +0, 6%       | +2, 0%             |

## 【数 学】について

大池中学校の平均正答数は 15 問中 7.6 問、平均正答率は 51% となった。これは三重県平均、全国平均と比較をしたときに、どちらも上回る結果となった。三重県との比較については右の表の通りである。

観点でみた時に、知識・技能は 2%、思考・判断・表現については 6% 上回った。しかしどちらの観点についても引き続き習熟を図っていく必要がある。

**(強み)** 4つの領域すべてにおいて三重県・全国平均を上回っていたが、大池中学校の強みとしては、「関数」領域が三重県・全国平均を大きく上回っていた。特に一次関数の変化の割合と増加量についての問いについては三重県・全国平均正答率が 30% 程度だったのに対し、大池中学校は 50% 程度となっていた。また、確率を用いて説明することができるかどうかをみる問いは、大池中学校は 80% を超える正答率となっていた。三重県・全国平均の正答率も高かったが、確率をつかって不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現で説明することが得意であると考えられる。

**(弱み)** 弱みとして考えられるのは、「図形」領域である。三重県・全国平均をわずかに上回る程度に留まった。特に多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる問いについては三重県・全国平均を下回った。

基本的な図形の知識の定着ができていないと考えられる。また、ある事柄が成り立つことを証明することができるかどうかをみる問いについては、三重県・全国平均を上回っているにしても 40% 程度に留まった。社会に出てからも物事を説明する能力は求められるため、引き続き既習事項を基に説明・証明することに粘り強く取り組ませたい。

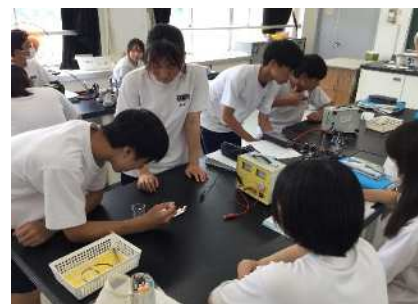
|               | R6 みえスタ (現 3 年生) | R7 全国学力学習状況調査 (現 3 年生) |
|---------------|------------------|------------------------|
| 大池中学校 : 平均正答率 | 50%              | 51%                    |
| 四日市市 : 平均正答率  | 49%              | 49%                    |
| 三重県 : 平均正答率   | 48%              | 47%                    |
| 全国 : 平均正答率    | —                | 48, 3%                 |
| 大池中学校と三重県との差  | +2, 5%           | +4, 0%                 |

## 【理 科】について

大問 1、5、8 は大問ごとの平均正答数が出ていますが、他の大問 2、3、4、6、7、9 は平均正答数が出ていません。これらの問いについては小問ごとに予想正答率が出ています。そのため全体の平均正答率等が記載されておらず、予想正答率の問題は無回答率の記載也没有ありません。大問 1 平均正答数は 6 問中 2.7 で三重県・全国は 2.8、大問 5、8 は 4 問中 2.0 で三重県・全国は 1.9 でした。

**(強み)** 各小問ごとの正答率を見ると電気回路の抵抗の大きさを求めることから水のあたたまる速さを考える問い(全国より 4.9 ポイント△)や大地の変化に関する言い伝えを選択し、その言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を記述するための問い(全国より 5.3 ポイント△)など自分で思考して答える問いの正答率が三重県や全国平均の正答率より高い結果となっている。また、実験において水道水ではなく、精製水を使用する理由を解決するための課題を記述する問いの無回答率が三重県より 4.2 ポイント低く、考えて答えを導く論理的な思考が少し得意であると考えられる。

【3 年生「理科」授業の様子】



**(弱み)** 塩素の元素記号を書く問いの平均正答率が全国平均率より 16.5、三重県平均率より 12.7 ポイントも低く、無回答率も全国平均より 6.3、三重県平均より 5.0 ポイント低い。この問いは単純に知識を答える問いである。学習と学習への理解度が不十分である生徒が多いと考えられる。

|               | R6 みえスタ (現 3 年生) | R7 全国学力学習状況調査 (現 3 年生) |
|---------------|------------------|------------------------|
| 大池中学校 : 平均正答率 | 45%              | 492 (平均 IRT スコア)       |
| 四日市市 : 平均正答率  | 49%              | 500 (平均 IRT スコア)       |
| 三重県 : 平均正答率   | 47%              | 498 (平均 IRT スコア)       |
| 全国 : 平均正答率    | —                | 503 (平均 IRT スコア)       |
| 大池中学校と三重県との差  | -2%              | -6                     |

※R7 全国学調の結果は、中学校「理科」の平均 IRT スコアとは、500 を基準にした得点です。

## 2 「全国学力・学習状況調査(3年生)の生徒質問紙や意識調査」からみる、大池中学校生徒の特徴(学習、生活の状況に関して)

この質問紙は4月15日に実施したものです。(現在の3年生の状況とは違いがとられます)

### ① 学習時間帯(平日)について

Q:学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか  
(学習塾や家庭教師、インターネットで学ぶ学習も含む)

・学習時間が1時間以上生徒の割合・・・ 全国:61.6% 本校:55.3%

### ② 読書習慣について

Q:学校の授業以外に、普段(月～金曜日)1日あたりどのくらい読書をしめますか。

・1日の読書が30分以上の生徒の割合・・・ 全国:21.4% 本校:15.5%

・読書を全くしない・・・ 全国:41.8% 本校:45.3%

Q:読書は好きですか。

・(どちらかといえば)当てはまると答えた生徒の割合・・・ 全国:61.6% 本校:68.9%

### ③ 基本的生活習慣について

Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

・起きている児童の割合・・・ 全国:54.7% 本校:55.9%

Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

・寝ている児童の割合・・・ 全国:34.0% 本校:39.1%

Q:毎日、朝食を食べていますか。

・食べている生徒の割合・・・ 全国:78.7% 本校:83.2%

### ④ 自尊感情について

Q:自分には、よいところがあると思いますか。

・(どちらかといえば)あると答えた生徒の割合・・・ 全国:86.2% 本校:89.4%

Q:先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

・(どちらかといえば)当てはまると答えた生徒の割合・・・ 全国:92.2% 本校:95.7%

### ④ キャリアの形成について

Q:将来の夢や目標を持っていますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:67.5% 本校:73.9%

### ⑤ 認め合う・支え合う関係づくりについて

Q:人が困っているときは、進んで助けていますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:90.9% 本校:93.1%

Q:いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:95.9% 本校:97.5%

Q:困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:73.2% 本校:73.1%

Q:人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:96.6% 本校:98.2%

Q:学校に行くのは楽しいと思いますか。

・(どちらかといえば)当てはまる生徒の割合・・・ 全国:86.1% 本校:92.5%

### ⑦ タブレットなどICT機器の使い方

Q:あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。

・とてもそう思う、そう思う生徒の割合・・・ 全国:63.3% 本校:72.1%

Q:あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか。

・とてもそう思う、そう思う生徒の割合・・・ 全国:76.6% 本校:75.9%



### ⑧ 主体的・対話的で深い学びについて（学級づくりを含む）

Q：今まで受けてきた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

・（どちらかといえば）当てはまる生徒の割合・・・全国：77.7% 本校：83.8%

Q：今までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

・（どちらかといえば）工夫して発表していた生徒の割合・全国：63.0% 本校：62.1%

Q：学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり、新たな考えに気づいたりすることができていると思いますか。

・（どちらかといえば）当てはまると回答した生徒の割合・全国：84.7% 本校：86.3%

Q：学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

・（どちらかといえば）当てはまると回答した生徒の割合・全国：73.4% 本校：79.8%

Q：授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

・（どちらかといえば）当てはまると回答した生徒の割合・全国：91.9% 本校：95.6%

Q：あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの良さを生かして解決方法を決めていますか。

・（どちらかといえば）当てはまると回答した生徒の割合・全国：84.3% 本校：92.6%

Q：道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級のグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

・（どちらかといえば）当てはまると回答した生徒の割合・全国：91.5% 本校：96.3%

### ⑨ 地域との関わりについて

Q：地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

・（どちらかといえば）当てはまる生徒の割合・・・全国：75.3% 本校：86.9%

## 3 大池中学校としての対応

### 【学校運営に関する状況等】

- ・業務においても教員研修会においてもICTの活用による情報の共有及び研修が積極的に図られている。業務日報や生徒への日課連絡などはGoogle クラウドを活用し、業務句便が進められている。

### 【学力向上等学習に関する取組】

- ・授業の冒頭に目標（めあて）を生徒に示す活動や授業の最後に振り返る活動を取り入れ、生徒にとって見通しがもてるような授業を実施している。また、振り返りを実施することで、次の学習につなげ学びを調整できるよう取り組んでいる。
- ・ICT機器を効果的に活用した授業づくりが進められ、授業の効率化を図るのみならず、生徒が主体的に学ぶ姿勢にもつながり、学力向上の一助になっていると考える。教員がICT機器の使い方を学ぶために必要な研修も適宜行い、教員の技術力向上を推進している。
- ・帰りの会前に「トライやるタイム」という10分間の学習時間を設定し、学力向上を図っている。その際、ドリルパークや各自で取り組みたい学習等 個に応じた学びができるよう適宜ICT機器も取り入れることで、基礎学力の定着につなげている。
- ・月1回を目標に、全校生徒を対象として、放課後の『補充学習』を実施（部活動を一齐に停止として）。
- ・長期休業日に「地域子ども教室」を開催し、今年度からは、地域ボランティアの方だけではなく、川越高校、四日市南高校、四日市メリノール学院高校に通う卒業生の協力も得て、学力補充を行っている。

### 【地域の人材・施設の活用】

- ・1年生では校区内にある国指定天然記念物の湿地「御池沼沢植物群落（西部地域・東部地域）」を探索した。市職員文化課の案内で希少な植物や湿地の現状を学ぶことができた。
- ・1年生では、他に『移動壁美術館』として、地域の民生児童委員であり画家である方を講師に招く。
- ・2年生での「職場体験活動」を通じて働くことの意義や、将来のキャリア形成について学ぶ機会となった。また、会社経営者はじめ、地域・地元ゆかりのある方に様々なテーマで講話いただく機会を設けることで、「確かに生きる力」につながるキャリア教育を実践していく。